

活力ある福祉社会、地域共生で暮らしに夢を !!

第44回通常総会開催

2007年度活動方針など満場一致で決定される

福岡県労福協は、5月25日（金）第44回通常総会を開催し、2007年度活動方針等について決定しました。総会は中村副会長より開催の挨拶と議長の選任の提案がなされ、議長には連合福岡の浜口代議員が選出されました。県労福協を代表して山口会長が「今年は中間年の総会であります。各地協が積極的に取り組んでいる中で、福祉募金については「安心、安全は私の声かけと行動」をキヤッチフレーズに地域労福協の取り組んでいる内容が、地域の皆さんに大変感謝されています。又、県労福協、グリーンコープ生協ふくおか、共同利用ふくし情報でんわについては、福岡、北九州、筑紫、筑後の4箇所で開設しています。問い合わせ件数は、年間で7000件の問い合わせがあり、市民の安全、安心、安定福祉社会の充実をめざす運動促進につながっています。



本年度の特徴的な取り組みについては、消費金融の金利を下げる運動を展開してまいりました。中央労福協の指導のもと、関係団体のご協力により、クレ・サラの高金利引き下げ運動を展開するなか、国政の場において、貸金業法等改正法が全会一致で可決・成立しました。全国で341万人の署名、43都道府県議会、1,136市町村議会での意見書採択などによる国民運動の成果として高く評価することができると自負しています。今後私達が進める労働者福祉の運動は、安全、安心な地域共生の時代を築くために大変重要な位置付けにあると認識しています。1年間の活動方針にそって運動を推し進めてまいります。」と挨拶をされました。

このあと、ご来賓を代表して、福岡県労働政策課 亀川副課長、福岡市生活安全課 緒方課長、北九州市雇用開発課川原課長、福岡県退職者団体連合 久保田事務局長より連帯と激励のご挨拶をいただきました。続いて各方面より寄せられた激励のメッセージが披露されました。総会は2006年度一般活動報告、会計並びに監査報告について全会一致で承認されました。

次に2007年度活動方針案、2007年度予算案について提案され、重点活動である「勤労者の暮らしにかかわるサポート事業」実現への取り組み等々の意見、要望等が活発に出されました。役員の交代に関する件（事務局長）について提案が行われ満場一致で承認されました。

最後に中村副会長よりメインスローガン「活力ある福祉社会、地域共生で暮らしに夢を」、と3本のサブスローガンが提案され、全員の力強い拍手によって採択され第44回総会が無事終了しました。

旅 PHOTO
in 水郷 柳川

柳川市は、福岡県南部、筑後地方の南西部に位置する市で、筑後地方の主要都市の1つ。福岡市から西鉄天神大牟田線で約45分、久留米市、大牟田市から同線で約15分である。市内を掘割が縦横に流れることから水の都または水郷と呼ばれ、掘割を使った川下り、旧藩主立花氏の別邸「御花」、詩人北原白秋などの文化人が全国的に有名。

川下り
沖端までの1時間10分あまりの情緒豊かな川下りは優雅さを存分に感じさせてくれます。

城堀水門
柳川城内に入る唯一の水門です。外敵の侵入を防ぐために造られたのですが、現在は川下りコースの出発点として使われています。

県労福協 事務局長交代いたしました。



退任 伏下 隆一

このたび5月25日、第44回県労福協通常総会におきまして事務局長を退任しました。在籍4年間「労福協のあり方検討委員会」で答申しました「行動し提案する労福協」を目指して運動を進めてまいりました。今後は地域と共に生じて暮らせる社会創りが大切です。私は地域社会にかえり今までの経験を生かした活動をめざします。

これまで支えて頂きました各事業団体・連合・地域労福協の皆さん、大変ありがとうございました。厚くお礼申し上げます。

今後も山口会長、笹井事務局長体制を中心に「ワンストップ事業」の設立と発展を祈念し退任の挨拶とします。



新任 笹井 範男 (私鉄総連・西鉄労組)

春から夏にますます生命が輝きを増す季節になりました。

県労福協はサブスローガンでも確認しています、県連合、労福協、地域労福協、福祉事業団体が連帯を強め、行動し提案する労福協体制作りに則り頑張ります。宜しくお願い致します。

2007年度重点課題と継続的取り組みについて

重点活動

- I. 「勤労者の暮らしにかかわるサポート事業」実現への取り組み
- II. 事業団体の活動を支援する取り組み
- III. 退職者・高齢者との連携・支援の活動
- IV. 計画的・継続的学習活動の展開

通年の取り組み

- I. 課題別プロジェクトの検討結果を実践に生かそう
 - ①福祉なんでも相談ネットワーク構築について
 - ②中小企業勤労者福祉サービスセンターの充実、強化
 - ③介護サポートと子育て支援の取り組み
- II. 政策・制度要求実現に向けて
 - ①社会保障制度改善への対応について
 - ②勤労者福祉向上に向けた自治体要請の取り組みについて
 - ③政策課題と連合福岡議員懇との連携
 - ④食の安全確保と自然環境の保全について日本生協連、NPO諸団体と連携した取り組み
- III. 活動の強化・充実に向けて
 - ①関係団体との連携・協力体制の強化について
 - ②三役会議、理事会をはじめ各種会議の機能的運営について
 - ③2007年県民健康増進事業と社会貢献活動の取り組みについて

役員名簿

2007年6月28日

役職名	氏名	選出団体（役職名）
会長	山口 正三	連合福岡（会長）
副会長	中村 太良	九州労働金庫福岡県本部（本部長）
〃	舌間 一成	全労済福岡県本部（理事長）
事務局長	笹井 範男	連合福岡（労福協専従）
理事	高田 幸一	連合福岡（副事務局長）
〃	則岡 正男	九州労働金庫福岡県本部（副本部長）
〃	湯浅 義信	全労済福岡県本部（専務理事）
〃	行岡みち子	福岡県生協連（会長理事）
〃	佐伯 衛	北九州総合労働会館（専務理事）
〃	中村 一輝	北九州地域労福協（事務局長）
〃	鎌田 徹	遠賀川地域労福協（事務局長）
〃	梅 園枝	福岡地域労福協（事務局長）
〃	小柳 啓二	北筑後地域労福協（事務局長）
〃	本田 賢治	南筑後地域労福協（事務局長）
〃	小森 幸雄	筑紫・甘木朝倉地域労福協（事務局長）
〃	田中 篤	京築・田川地域労福協（事務局長）
監事	浦田 哲也	連合福岡（福教組 書記長）
〃	岡野 博彦	九州労働金庫福岡県本部（業務推進課長）

福岡県労働者福祉協議会

2007年度 中央労福協全国研究集会

「社会的共感の得られる運動を協働して取り組むために」



2007年6月7日・8日全国研究集会がホテル新潟（新潟市）において、参加者223名で開催されました。主催者を代表して笹森清労福協中央協議会会長より「労福協運動50年、もう一度原点にもどり、労働運動と市民運動のジョイントになり、地域生活にかかわる社会運動で地域運動を合体させる行動が必要である。又、地域社会で安心・安全の取り組み、地域をどう再生させるかの運動にどう取り組むのか、ワンストップの取り組みについては、全国106か所の地協を拠点に、地域をどう再生させるのか、産別がどうリードしていくのか、あまり見えていないし、相当な温度差がある。47都道府県がまだまだバラバラであり、労働組合は、堀の中から外に出ていないのではないか、労働組合は、NPOなどとの協働を進めるために、お互いに分かり合い、それぞれの役割を發揮してほしい、その際、これまでの労働運動という形にこだわる必要がないのではないかと思う。労福協もそこに力を発揮していきたい」と挨拶がありました。

その後、慶應義塾大学商学部樋口教授より「地域再生ワーク・ライフ・バランス」についての基調講演がありました。第2部は作家 石川英輔氏より「江戸時代の循環型社会」についての講演があり第1日目を終了致しました。

2日目朝からは、ゲストに石川県労働者福祉協議会理事長 川淵尚志氏、愛知県労働者福祉協議会会長 堀下猛氏、山口県労働者福祉協議会会长 坂根正雄氏を迎えて、コーディネーター役の笹森会長の司会で「暮らしに関わるサポート事業」の必要性を明らかにしながらの活発なトークセッションでした。

2日間の研究集会は、地域再生のための労福協運動はどうあるべきか、どう具体的に行動するか熟慮し大変有意義なものとなりました。



風水害等付金付火災共済・自然災害共済

台風の恐ろしさを!

ZENROSAI NEWS

たすけあい、
未来へつなぐ NEXT 50

忘れていませんか？

昨年2006年の台風13号は福岡県をはじめ九州・西日本の広範囲に多大な被害を与えました。台風や自然災害などによる、突然の住宅修理代は私たち働く者にとっては一大事です。台風13号の被害件数から、自然災害共済の付帯率は4割強、自然災害共済の非付帯率は6割弱でした。毎年やってくる台風や自然災害の対策に無防備になつていませんか？今から台風シーズンに備えましょう。

こんなに差が出ます！

例

台風災害で住宅のみが被災し全労済の現場調査によって**損害額が45万円**と認定された場合（全労済支払基準による計算。）

①火災共済のみご契約の場合

115,000円（支払金額）

②（自然災害共済+火災共済）ご契約の場合（①を含む）

498,000円（支払金額）

※実際のお支払いは契約内容ならびに被害状況によって異なります。

●自然災害共済を付帯した場合

掛金では火災共済20,650円+自然災害共済26,550円=47,200円（年掛金）になり給付金では火災共済の風水害等共済金115,000円+自然災害共済383,000円=498,000円が支払われ、損害額45万円の修理が可能になります。

火災共済での保障金額の場合です。

木造住宅 30坪

30坪×65万円（坪あたり加入基準）
=1,950万円（195口）に加入

家財 40歳代4人家族

1,000万円（100口）に加入

掛金 ①火災共済のみ（住宅+家財）

295口×年70円=20,650円（年掛金）

さらに自然災害共済を付帯すると

②火災共済+自然災害共済（住宅+家財）

295口×年160円=47,200円（年掛金）

●自然災害共済の特徴

自然災害共済の特徴は風水害等共済金のほか、地震等共済金（全労済支払基準による）や盗難共済金も付帯されております。

●保険料控除について

平成19年1月分以降の掛金では、自然災害共済掛金のうち地震等破損部分にかかる共済掛金が所得税控除の対象となります。

全労済 筑後支所

福岡県久留米市東町42-14
ワカナステートビル3F
TEL 0942-38-8211

全労済 北九州支所

福岡県北九州市小倉北区真鶴1-5-15
真鶴会館3F
TEL 093-591-7220

全労済 福岡支所

福岡県福岡市中央区舞鶴1-1-7
全労済モルティ天神ビル3F
TEL 092-732-4047

お問い合わせ
(福岡県労働者共済生活協同組合)

受付時間／(土・日・祝日を除く) 9:00～17:15まで

TEL 092-739-6100

7907B011

ろうきん カーライフローン キャンペーン！

■キャンペーン期間
'07 7月1日(日)～
'07 9月30日(日)まで

低金利・最高500万円・最長10年のラクラク返済。

キャンペーン金利についてのご注意

キャンペーン
金利
(変動金利)

年利

2.1%

優遇金利
(変動金利)

年利

1.9%

(金利優遇サービス該当の場合)

※別途保証料0.7%または1.2%が必要です。



お問い合わせ先



九州労働金庫福岡県本部

〒810-8509 福岡市中央区大手門3-3-3 ☎092-714-7143
ホームページアドレス <http://kyusyu.rokin.or.jp/>

